

フィリピン共和国・ラオアグ市による姉妹都市提携の希望

2013年8月
在フィリピン日本国大使館

今般、フィリピン共和国イロコスノルテ州ラオアグ市から日本の都市との姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下、ラオアグ市の概要を紹介いたします。



(ラオアグ市庁舎)



(ラオアグ市の市章)

1. 市の概要

(1) 基礎的データ

① 所在地

フィリピン共和国イロコスノルテ州ラオアグ市
(首都マニラの北 488 kmに位置)

② 面積

127.47 平方キロメートル

③ 人口

105,276 人 (2010 年)

④ 他国との姉妹都市

カウアイ郡 (米国・ハワイ州)

ホノルル市 (米国・ハワイ州)

⑤ 公式ウェブサイト

<http://www.laoagcity.gov.ph/>

2. ラオアグ市の歴史

ラオアグ (Laoag) とは現地のイロカノ語で「光」「輝き」を意味し、その青く澄んだ空から名付けられました。1572年にスペインの征服者であるホアン・デ・サルセドがパドサン川の北岸に着く頃には、繁栄する開拓地として中国や日本の貿易商には既に知られていました。1580年にはアウグスティノ修道会の伝道師がローマカトリックの教会を建設しました。ラオアグは1585年には町として整備され、イロコス地方北部で最初の教会区となりました。

ラオアグは1966年に市となり、現在に至るまでイロコスノルテ州の州都として栄えています。

3. ラオアグ市の観光

(1) 1580年にアウグスティノ修道会の修道士が建築したセント・ウィリアム大聖堂から85m離れた場所に“沈みゆく鐘楼”(Sinking Bell Tower)があります。この鐘楼は少しずつ沈み、また傾いており、建設当時は馬の背に乗ったまま入れたと言われていたのですが、今は身を屈めなければ入れなくなっています。



(2) イロコスの言葉で宝を意味する“Gameng”という別名で呼ばれている博物館が、繁華街にあります。この博物館はイロコス地方の文化を知るのに最も役に立つ施設の1つで、スペイン統治時代は煙草倉庫として使われていた建物です。



(3) 市の広場の真ん中に、煙草独占記念碑が立っています。この地域は煙草の栽培に最適のため、スペイン統治時代に煙草のみを栽培することを強制されました。1882年に、煙草の支配からの解放を祝し、この記念碑が建てられました。



(4) ラ・パズ砂丘(“La Paz”は“The Peace”の意)と呼ばれる85平方キロの砂漠地帯は、映画撮影がよく行われる場所となっています。砂丘は10~30メートルで、四輪駆動車を走らせたり、サンド・サーフィンを楽しむことができます。



【お問い合わせ先】

○在フィリピン日本国大使館

電話 +63-25515710

メール jicc-mnl@ma.mofa.go.jp

○外務省大臣官房総務課地方連携推進室

電話 03-5501-8491

メール gaimu-renkei@mofa.go.jp